



2018年号

2018年4月発行(年1回発行)  
発行元:おかや音楽協会



おかや音楽協会情報誌

MUSE

～みんなで紡ごう 音の絹糸～



## すわびとオペラ旅

実行委員長 佐原 武

おかや音楽協会に昨年出来た「オペラに親しむ会」部会が企画したガラコンサート「すわびとオペラ旅」が一月二十八日、カノラ小ホールで開かれ、会場を埋めた約二七〇人の聴衆は、オペラの世界を満喫しました。このコンサートは、地域の方々にオペラを身近に感じてもらうと同時に、第五回のオペラ「御柱」の気運を高め、地元出身の演奏家の紹介や演奏機会を作り出すことも念頭に置いて企画しました。

演奏の感想アンケートをお願いしたところ、多くの方々から「来年も是非やってください」というコメントが寄せられました。スタッフ一同ホッとすると共に、来年に向けて早速企画を練り始めております。

今回の企画はおかや音楽協会の会員だけでなく、多くの地元の方々がスタッフに参加下さり「すわびとオペラ旅実行委員会」という組織のもとで運営されました。このことは次回のオペラ「御柱」に繋がる動きとして重視しています。

カノラホールという素晴らしい音楽環境を十二分に活用し「私たちのホール」「俺たちのホール」と自信を持って誇れるものにしていきたいと思わずにはいられません。ホールと市民が一緒に思わす行動していくことが、おかや音楽協会がめざす『文化都市』になっていくものと信じております。

## ドラマティックな旅の始まり

渡辺しおり

この冬、岡谷に手作りのオペラコンサートが生まれました。準備期間は、目指すコンサートの実現には短すぎる

たった四ヶ月！しかし本番は夢のようなオペラ旅となったのです。舞台上で演奏者は輝き、舞台裏ではスタッフが各々の持ち場で生き

生きと働き、客席には、目の前で繰り広げられるオペラの世界に目を輝かせ、

笑い、ため息を漏らす大勢のお客様…この素晴らしい一体感こそがオペラの醍醐

味であり、我々の目指していたものでした。この一回の公演のために結集した人の輪が広

がり、さらに楽しいオペラ旅が続いていくことを感動のうちに確信しました。皆様、本当にありがとうございました。

# すわびとオペラ旅



アンコール オペラ「御柱」より終幕の合唱《すわびとよ見よ》



「ホフマン物語」より 生け垣に小鳥たちが (渡辺・博士・助手・合唱)



「夕鶴」より  
あっ!おばさんおったぞ (渡辺・子供たち)



「ドン・パスタワーレ」より二重唱  
静かに、静かに、今すぐに【佐原・藪内】



ピアノ (岡崎)



パーカッション (横内)



ナレーション (山岡) ナビゲータ (市田) ナレーション (高木)



# 次回 すわびとオペラ旅

来年(2019年) 1月27日(日) カノラ小ホール

## 乞うご期待!



渡辺しおり



藪内俊弥



金子 響



佐原壮也



「魔笛」より パパの二重唱 (金子・佐原)



「パリアッチ」より二重唱 なんて向こう見ずなの (藪内・渡辺)



**横内 諒** Ryoh Yokouchi パーカッション  
 岡谷市出身。東京音楽大学音楽学部打楽器科卒業。二〇二二年東京音楽大学ヨーロッパ選抜オーケストラで打楽器科一位を獲得し、チェコ、ハンガリー、オーストリアでの四公演にて、首席ティンパニストを務める。現在はフリーの打楽器奏者、オーケストラ奏者として活動している。「打楽器軍団 DA・DA・DOWN」メンバー。東京在住。

**岡崎花絵** Hanae Okazaki ムアノ  
 下諏訪町出身。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏専攻修士課程修了。ソロリサイトを諏訪の長い夜のイベント、八十二文化財団ロビーコンサート、カノラホールソサエティ創立二十五周年記念で開催。また、SFC松本でのコレペティトウア、SKF小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIII参加。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」諏訪教室講師。

**市田和枝** Kazue Ichida 司会進行  
 山口県下関市出身。岡谷市在住。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。故阿部幸次氏、嶺貞子氏に師事。第二回のオペラ「御柱」では、侍女こまくさ役で出演。現在、富士見中学校教育支援員。おかや音楽協会会員。オペラ「御柱」実行委員会技術スタッフ。童謡・唱歌普及のため、演奏活動や指導のボランティア活動も積極的にやっている。

**金子 響** Kyoh Kaneko ソプラノ  
 塩尻市出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院オペラ・コース修了。二期会オペラ研修所第五十六期マスタークラス修了時に優秀賞及び奨励賞受賞。サントリーホールオペラ・アカデミー第三期プリマヴェラコースを修了。オペラでは「フィガロの結婚」、「ラ・ボエーム」に出演。現在、サントリーホールオペラ・アカデミー第三期アドバンスコースに在籍中。東京成徳短期大学非常勤講師。二期会会員。

**佐原壮也** Sohya Sohya バス・バリトン  
 岡谷市出身。国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラ研修所第五十三期マスタークラス修了。セイジ・オザワ松本フェスティバルをはじめ、古典から現代まで様々なオペラ作品に出演。またバツハ「マイ受難曲」第九、「フォーレ」レクイエム等のソリストを務める。現在ハンブルク音楽院にて研鑽を積んでいる。カノラホールでの第四回オペラ「御柱」でオサカ役で出演。二期会会員。

**渡辺しおり** Shiori Watanabe ソプラノ  
 福岡県出身。武蔵野音楽大学卒業。声楽を山田実、永井和子両氏に師事。ソロリサイトルをほぼ毎年開催。オペラでは、カノラホールでのオペラ「御柱」の主役ヤサカ、まもも市民芸術館でのまもも市民オペラ「カルメン」のミカエラ、他、同ホールでの創作オペラに主演。ミュージカルや、宗教曲、合唱曲のソリストとしての出演も多数。各地で幅広いレパートリーで演奏活動を行っている。岡谷市在住。

**藪内俊弥** Toshiya Yabuchi バリトン  
 松本市出身。東京藝術大学大学院修士課程修了。第十二回日仏声楽コンクール第二位。第二十三回音楽堂日本歌曲コンクール第二位。第九、メサイア、バツハ「マイ受難曲」、「モーツァルト、フォーレ、デュリュヴレ」等の「レクイエム」のソリスト、モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」、「フィガロの結婚」をはじめ、様々なオペラに出演。カノラホールでの第四回オペラ「御柱」でタケイ役で出演。二期会会員。





「風船割れそう!」



くしゃくしゃにした紙を何枚も貼り足して壁作り

## くすわびとオペラ旅の始まり

演出 山岡泰一郎

カノラホールは、平成元年十一月三日に開館し、建設を担当した流れで四年間施設運営に携わった。その間オペラでは「蝶々夫人」「こうもり」「椿姫」の公演が行われ、生まれて初めて生のオペラを仕込から、パシマまで観ることができた。その後、開館十周年事業の市民オペラ「御柱」に地元演出助手という立場で参加し、第二回も同様な立場で関わった。そして、平成二十八年の第四回公演では、舞台監督になり大きな舞台を仕切ることになった。もちろん、そんな大役を一人でこなせるわけもなく、スタッフに支えられて無事努め切ることができた。

(楽譜も読めないのになぜ指名されたのか)

第一回のオペラ御柱を取材した、熱血ライター神山典士氏の記事には「平田(前館長・神奈川県)と中村(脚本作曲・沖縄県)という余所者よそもものが集った。実行委員会総入替えて若者の登場になった。神谷君(原案)や山岡君のような若い人材も参加して来た。そこに、合唱を愛してやまないアマとプロのオペラ馬鹿たちがやってきた。見事に三者が一体になったわけだ。」とある。第四回に参加した時、第一回で顔を合わせたメンバーがたくさんいる。十七年も経つのに、ほぼ同じメンバー。もう若い人材ではない私も含め、第

五回、第六回とオペラ御柱を続けていくには、六年に一度の御柱では継続が難しいということを実行委員会のメンバーは気がついていて、何かしなくては・・・ということまで企画されたのが「くすわびとオペラ旅」。御柱までの五年間をつなぐ公演である。合唱参加者、スタッフ、お客さんと地道に輪を広げ、次のオペラ「御柱」が開催できるように地盤づくりを行う事が目的。まずは、オペラを気軽に楽しめるような公演として企画され、歌えない自分はチラシのイラスト作成、本番での物語紹介のマンガやイラスト、当日の舞台設営から段取りなどを担当した。

正直、オペラに関する知識はそれ程ないので、それを強みにして、どうすれば楽しんでもらえるのかを考えた。結果、ソプラノリスト渡辺しおりさんの書かれた脚本を、出演者、舞台スタッフ共に盛り上げ、お客さんと共に楽しい時間を過ごせた。

少ない練習で本番を迎えたが、それぞれ個性的な力を持った人たちが集まると、こんなにも面白いものがつくられるのかと驚き、感動した。名前すら良く知らない寄せ集めチームなのに、ひとつの目的に向かって努力する姿は、舞台づくりくらいなのだろうか。この企画が、大きな輪をつくるきっかけになったと実感している。

高校生や若いスタッフが舞台作りを精を出す!



脚立に乗って「ここ風船足りないよ!」





## 『アンケート』より 抜粋して掲載

「すわびとオペラ旅」を鑑賞後、アンケートを出して下さった方々の全員が「良かった」と、ご記入くださいました。聴き応えや楽しめる内容・構成だったことに対して高評価の記述が目立っていました。

(三十代男性)

聴き馴染みのある信濃の国が途中で出てきたりして、最後までずっと楽しく聞くことができた。今までオペラというものはおもったお堅いものだと思っていたが、思っていたよりずっと楽しいものだということがわかった。そしてストーリーの内容にびっくりした。昔からみんなそんな昼ドラのような物語が好きなんだなあ……。

(女性)

小さな会場で、間近にオペラの歌声が聞けて迫力があり心に響き感動しました。オペラって一段上のもののように思っていました。身近に感じることができました。子どもたちにも、小さい頃から聞かせてあげたらもっとオペラ鑑賞人口が増えるかも……。バラエティに富んでいて、たのしかったです。字幕に歌詞の訳が出たのも、よくわかり良かったです。

(六十代女性)

地元にも所縁のある若者たちを中心に創り上げたステージに、感動。今後も応援していきたいと思いました。今後は、たくさんの子どもたちが鑑賞出来る企画も希望いたします。

(三十代女性)・制作スタッフボランティア

大道具や小道具の用意、照明など、表に立って見える演奏家だけでなく、裏側に実際はたくさんの方の手が必要である「オペラを作り上げる作業」の大変さと達成感を感じることができました。とても楽しかったです。



「やってよかった」と出演者、スタッフ皆さんの会心の笑顔



全員集合





# 岡谷市文化祭 第73回 市民音楽祭

2017年11月3日 第73回市民音楽祭がカノラホール大ホールで行われました。

73回を数える市民音楽祭ですが、その中に今までとは様子の違った演奏がありました。それは、公募団体の「ウルトラ市民合唱団」と「ごちゃまぜウインドオーケストラ」が10周年を迎えたことを記念して「翼をください」の合同演奏をしたことです。公募団体の演奏が10周年を迎えたということは、素晴らしいことだと思います。この団体を作ろうとしたきっかけと、これから期待することを、運営に当たっている方々にお聞きしてみました。



「ウルトラ市民合唱団」「ごちゃまぜウインドオーケストラ」合同演奏

市民音楽祭はこれまで、音楽団体に所属しているか  
学校関係団体の演奏で行われていました。音楽祭実行委員会意見交換の場でより多く  
の市民の皆さんに関心を持って欲しいとの意見が出ました。さて、

音楽の好きな人に気軽に  
参加してもらえる方法を考えましょう。

歌だったら、合唱経験がなくても、  
みんなで歌う楽しさを味わうことが  
できますよね。

## 10年の感想・これからのこと

3か月の練習ではありますが、  
継続参加で楽しんでいる市民の皆さん  
も大勢いらっしゃる。音楽を通じ年齢や経  
験の垣根を越えて心を合わせ、練習の成果  
をカノラホールの舞台上で発表できることを  
励みにしています。  
このことは成果として大きい。

## それを実行する手立ては

### 公募してみましょう！

吹奏楽では昔、楽器演奏したことがあるけど今は  
楽器が家で眠っているという方にもう一度楽器を手  
にとって演奏して楽しみませんか？とお誘いしてみ  
る・仕事が忙しく演奏団体には所属出来ないけど期間  
限定ならば参加したい方がいそうですね。公募合  
唱団と吹奏楽団で吹奏楽伴奏の合唱曲が演  
奏できたら嬉しいですね。

ごちゃまぜウインドオーケストラ  
の指揮者にひとこと聞いてみました。  
厳しい要求についてくださり、感謝しています！ 音符  
を正確に鳴らすことよりも、音楽の構成、その音の意味を伝  
え、何よりもオーケストラの響きを中心につくり上げてきた。和  
音を正確に作り、朗々と歌い上げると旋律は自然に聞こえてく  
る。気持ちよく演奏を楽しんでいたただけたと思います。これ  
からも皆さんに感動していただける音楽を目指したいと  
おもっています。



# おかや音楽協会五周年記念 まちかど音楽会部会イベント



Hot Summerコンサート

アンサンブルスワン



秋の夜長におしゃべりと音楽を  
Live Jazz by  
EAST VILLAGE Band

イースト・ヴィレッジ・バンド

2017 09 22

まちかど音楽会部会は、今年度活動を本格化し、前年度行なった五周年記念イベントをもとに活動いたしました。

七月は岡谷美術館主催の「Hot Summerコンサート」へおかや音楽協会所属団体から出演をいただき、当日の運営を担当いたしました。九月は、会員対象の「秋の夜長におしゃべりと音楽を」を前年度同様にFive Penniesで開催いたしました。今回は、イーストヴィレッジ楽団によるジャズナンバーで、ゆったりとした大人の時間を楽しんでいただきました。十一月にはレイクウオーカー「The Power Of Music II」を開催。十二時三十分から十七時三十分まで、六団体一人一人の出演をいただきました。前回同様、多くのお客様に、大変ご好評をいただきました。会場では、おかや音楽協会についてのご質問もたくさんいただき、協会の存在をアピールできる良い機会にもなりました。

今年度も、ご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝を申し上げます。次年度は新しい展開も視野に入れた活動をしたいと考えております。ご興味のある方、ぜひ一緒に活動してください。よろしくお願いたします。



The Power Of Music II



司会進行役の笠原さんと小松さん



カノラータ金管アンサンブル



ウインズ・ファミリア



すわ胡会



小松チヒロ Mass Choir



武田勇太



ごちゃまぜウインドオーケストラ



東海大学付属諏訪高等学校吹奏部



# 「おかや音楽協会における先進地視察の

## その意義と今後についての考察」

おかや音楽協会 事務局長 笠原新太郎

のつけからこんなことを書くこと先輩諸兄から、お叱りを受けそうだが、正直なことを言うと自分は子どももの合唱や合奏に興味が大いにあると言えは嘘になる。三年前に、事前調査団を組んで運営委員会メンバーと向かった「郡山ハーモニーコンサート」は、全国レベルの大会に入賞した郡山の児童・生徒の合唱団・合奏団によるものであるが、林新一郎会長のお伴をしないわけにはいかないし（会長スミマセン）、酒処福島で地元料理に舌鼓を打つことができるのならと、チョー不謹慎な想いを心の内に秘めながら向かったのであった。

今回もそうであったが、このコンサートは郡山市内の小中高校の音楽部が何校も全国大会に入賞しないと開催できない代物である。それが毎年こうして何校もの、そして尚且つ違う学校の組み合わせで開催されるということ、は、郡山が「音楽都市」を標榜し音楽教育に並々ならぬ注力をしていることに、異論をささむ余地はないだろう。

この音楽の都市（まち）を体感することを目的として、昨年十一月に総勢十四名で郡山にでかけてきたのである。それにしても、今回もこのコンサートを目の当たりにして、門外漢かつ不謹慎男の自分が、目に涙を浮かべながら（ホントです！）「やっぱ郡山スゲー、わざわざ何時間もかけて、あまり興味の無いコンサート（またまたスミマセン！）に来たけど、ホントよかったわー」と、感動するんだから、やはり郡山の子どものたちの音楽レベルは相当なものである。そのうえ、会津料理を肴に銘酒をたつぷりと堪能できるなんて。

今回協会の皆さんにお声掛けしたところ、当初目標の大型バス数台チャーターには惜しくも及ばなかったが、参加された十四名の方は、みな大きな満足感を得て岡谷に帰って来られたことと確信している。またいずれこうした「音楽先進地視察」が計画されたら、真つ先に（タブン）申し込む自分が想像に難くない（ホントか？）。







福島県立郡山高等学校 合唱団



郡山市立郡山第二中学校 管弦楽部



福島県立郡山商業高等学校 管弦楽部





帝京安積高等学校 吹奏楽部





# コラムカノン

⑧

おかや音楽協会会長 林新一郎

昨年、平成二十九年十二月二日、かねてよりの懸案であった、「第七回音楽都市こおりやまハーモニーコンサート」へおかや音楽協会の有志十四名で行ってまいりました。会場は郡山市民文化センター大ホールで、千八百人収容のホール満杯の来場者で、溢れる熱気に満ちておりました。

市内十校の小中高の合唱、吹奏楽、管弦楽はどれも全国レベルで、充分楽しむことができました。特に感心した演奏は、郡山市立金透小学校特設音楽部のモーツァルトの「劇場支配人」序曲ほか二曲でありました。小学校で本格的なオーケストラは、私も初めての経験で、驚きと感動を禁じ得ませんでした。これまでに指導教育された関係各位のご尽力に敬服いたしました次第です。

会場の司会者から「遠く、長野県岡谷市の音楽協会の皆様がご来場されておられます。」との丁寧なご紹介をされ、恐縮至極でありました。



郡山市立金透小学校特設音楽部

さて、今秋十一月十七日に小口太郎の記念音楽会がここ岡谷市カノラホールで開催されます。

昨年六月三十日に滋賀県のびわ湖ホールで舉行された『第一回びわ湖音楽祭・琵琶湖周航の歌100周年記念』続いて七月九日、この曲の原曲である「ひつじぐさ」を作曲した吉田千秋のふるさと新潟市秋葉区文化会館ホールで『愛唱歌100年「琵琶湖周航の歌」として、永年歌い続けた加藤登紀子さんの熱唱によるコンサート』が行われました。

一八九七年(明治三十年)諏訪郡湊村(現:岡谷市湊)に生まれた小口太郎は、諏訪中学(現:諏訪清陵高校)卒業、第三高等学校(現:京都大学)在学時、水上部(ボート部)に属し、琵琶湖周航中に、故郷の諏訪湖に思いを馳せながら「琵琶湖周航の歌」を創作し、当時学生の間で流行していた吉田千秋作曲「ひつじぐさ」のメロディーにのせ「替え歌」として歌ったのが、はじまりとされています。大正のロマンチズムと自然の美しさの中に、人間の喜びと悲しみとが詩情豊かにうたいこまれてくるこの歌は、今も歌い継がれる名曲です。



また、あまり知られていませんが、彼は科学者でもあり、東京帝国大学在学中に「有線及び無線多重電信電話」を発明し、日・英・米・独・仏・伊・加・豪の八カ国から特許を得て、現代の通信事業の基礎技術に生かされています。

十一月十七日の記念音楽会は小口太郎生誕の地に即した素晴らしいものとなることを期待しております。特に岡谷市、岡谷商工会議所、小口太郎顕彰等保存会の皆様方には、特段のご理解とご協力をお願い致す次第です。大勢の皆様のご来場をお待ちいたしております。



## 平成29年度 おかや音楽協会活動報告

- 総会、交流会5月13日(土) 諏訪湖ハイツ
  - 歌いつこうー日本のうた【歌魂講座】(18頁写真上)
    - 5月21日(日)・7月23日(日) 9月24日(日)
    - 1月20日(日) いずれもカルチャーセンター
    - 12月10日(日) カノラ小ホールカノラ少年少女合唱団とともに、参加者全員での小ホールに歌い継ぎたい日本の歌を響かせた。
  - 3月11日(日) 諏訪湖ハイツ
  - 毎回100名以上の参加者があり、5月〜1月までの5講座で、のべ570名以上が参加した。
- 岡谷市放課後子どもの居場所づくり事業での歌の集い
    - 川岸小学校 とちっこひろば
    - 上の原小学校 うえのはらっぱ
    - 神明小学校 神明っ子はばたきラボ
    - 岡谷田中小学校 あやめ基地
  - カルチャーセンター・公民館主催事業での歌魂の講座
    - いちい学級(湊公民館・カルチャーセンター)
  - 琵琶湖周航の歌100周年記念びわ湖音楽祭(びわ湖ホール)
    - 6月30日(金) 運営委員4名で視察
  - 諏訪の長い夜 岡谷美術考古館コンサート 7月15日(月・祝)
    - 出演団体・カノラータアンサンブル・岡谷マンドリンクラブ
    - アンサンブルスワン(川岸女声コーラス有志)
    - ハーモニカ21・音協みんなで楽しくうたい隊
  - 秋の夜長におしゃべりと音楽をpart2ファイブペニーズにて
    - 9月22日(金) 軽食とドリンク付きで、イーストヴィレッジ楽団のジャズの演奏と仲間とおしゃべりを楽しんだ。
  - 《おかや音楽できるスペースマップ》の発行 10月(18頁写真)
    - 公共施設から民間の施設、店舗まで四十二の施設について、演奏会や練習が可能な状況を、一枚のマップにまとめ会員に配布した。また一般の方の有効利用に向け市役所、公民館などの公共施設にも置いた。
- おかやフェスタ 10月7日(日)
    - 岡谷市民音楽祭PRステージ 市立岡谷美術考古館テラスにて
    - 出演 上の原小学校音楽クラブ(吹奏楽)
    - ごちやませウインドオーケストラ(市民音楽祭公募団体)
  - 諏訪湖マラソン応援隊 雨のため中止としたが、集まった数名の会員有志で選手たちを、ささやかながら応援した。(18頁写真)
  - 「The Power Of Music II」 11月18日(土) レイクウオーク
    - 音協会員だけでなく広く出演者を募ったところ、140名の方の参加があり、大盛況であった。
    - 参加者 カノラータ金管五重奏・武田勇太・ウインズファミリア
    - ごちやませウインドオーケストラ(岡谷市民音楽祭公募団体)
    - 小松チヒロMass Choir・すわ胡会
    - 東海大学付属諏訪高等学校吹奏楽部
  - カルチャーセンター ホリディスクエア(音協共催事業)
    - 歌魂クリスマスコンサート 12月10日(日)
    - 出演団体・おかや音楽協会歌魂青年隊
    - アンサンブルスワン(川岸女声コーラス有志)
  - ラララ・カンガルー 第6回親子deわくわくコンサート
    - 諏訪湖ハイツ 12月17日(日)
    - 大会議室いっぱい親子で、楽しいコンサートとなった。
  - オペラに親しむ会部会
    - 「すわびとオペラ旅」2018年1月28日(日)
    - 今回のオペラ「御柱」公演を見据えて、市民のみなさんにオペラに気軽に親しんでいただこうと、会員以外の高校生を含む市民がスタッフに加わり《すわびとオペラ旅実行委員会》として開催した。
    - ソリストに県内出身の渡辺しおり、藪内俊弥、佐原壮也、金子響の各氏を迎え、会員による合唱団と児童合唱団を交えてのバラエティに富んだステージだった。尚、チケットは完売した。
  - おかや音楽協会会報「MUSE」8号発刊 4月29日(日)

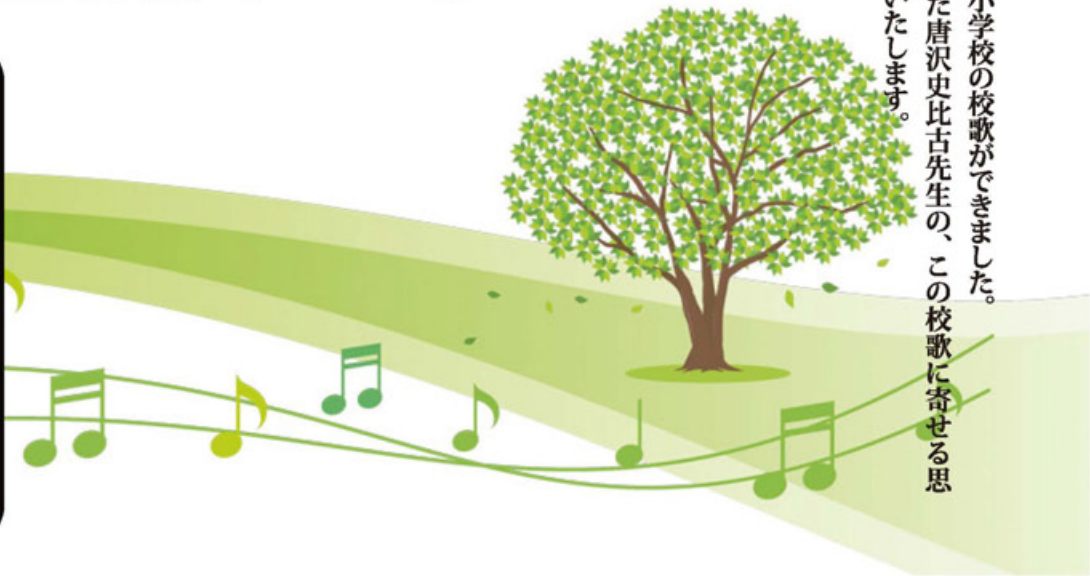


# おかや音楽さんぽ

岡谷田中小学校の校歌ができました。  
作曲された唐沢史比古先生の、この校歌に寄せる思  
いを掲載いたします。



唐沢史比古先生



## 岡谷田中小学校 校歌 羽ばたけ！今

作詞・作曲 唐沢史比古

あそぼり？湖が光るよ  
つながる 山が高いよ  
この道この街この景色  
ここがここが 故郷  
大空 翔けていこう  
やさしくたくましく  
流れる風をうけ  
飛びたて今  
高くたかく

つくりう！歌声が響くよ  
ともだち 笑顔あふれて  
この時この事この生命  
みんなみんな輝いて

大空 翔けていこう  
やさしく たくましく  
流れる風をまわり  
羽ばたけ 今  
強く つよく  
遠か はるか  
さあ！大きく

平成二十九年八月 小宮山健司書

## 岡谷市立岡谷田中小学校の校歌！

おかや音楽協会広報 金子慶子

平成二十九年十一月二十五日、岡谷田中小学校地域公開  
参観日が行われました。

『開かれた学校』へのご配慮なのでしょうか。学校の参観  
日とは縁のなくなった私としてはとても興味深く、いそい  
そと出かけました。

朝より一般開放とのこと。どこのクラスの授業でも自由に  
参観をしてください！という参観日はとても新鮮でした。一  
時間目の授業参観の後、保護者、地域の人達への「学校づ  
くり研究発表」が行われ、その中に特別企画「校歌を歌お  
う」の時間がありました。平成二十八年四月岡谷小学校と  
田中小学校が統合され、新しい校歌が二十九年二月にでき  
たのです。その校歌を保護者、地域の皆さんにも歌ってい  
た  
だきたいとの企画です。楽譜が配られ、音楽専科の山田祐  
介先生がご指導をしてくださりました。素敵なメロディー  
の校歌は、少し練習すると歌いやすい曲のため、大きな声  
で気持ち良く歌うことができました。その後、全校の学習  
発表の中で、全校の子ども達や先生方と一緒に校歌を歌う  
という、忘れられない経験となりました。

そして今年三月十五日、統合されて二回目の卒業式でし  
た。式の中で歌われた校歌の合唱はとても素晴らしく感動  
しました。その日、来賓の年配の方が家に帰り「今日の卒業  
式は良い式だったよ。校歌も良い歌だったなあ。校歌を歌っ  
てみてや。」と言ったら、子どももだけど、お母さん（親）が  
歌ってくれただよ」と、嬉しそうに話してくれました。保護  
者や地域の人にも校歌を教えて頂いたからでしょうか。素  
敵な話に心が動きました。

校歌に関連しての経験を考えると、やはり、作詞作  
曲された唐沢先生にこの校歌ができたプロセスをお聞きし  
たくなりました。先生にお願いしたところ、早速書いてくだ  
さいました。



## 羽ばたけ 今!

—岡谷田中小学校校歌創作をふりかえって—

唐沢史比古

晴れて凍みる真冬の日、木々の立ち並ぶ急坂をやつとのことで登ると、そこには履きなれたズックのような校舎が黙って建っていた。壁には大きく『笑顔と感動あふれる岡谷小』と書かれている。ふり返って麓をみると、街の向こうに諏訪湖が逆光に反射し、その彼方に八ヶ岳が青白くくつきりとした稜線を描いていた。平成二十九年一月十七日の美しい朝である。

横内宏行校長先生が私の家を訪ねてきてくれて「本校校歌の作詞、作曲をお願いしたいと思いますが…」と告げられたのは前の年の十月三十日のことで、その経過や主旨を聞き、お引き受けすることにした。「あと二年くらいで」とおっしゃりながら「できれば今の六年生が卒業する時に歌うことができれば嬉しいのですが…」とも伝えていただいた。

それからの岡谷田中小学校からの対応は早く、十一月十九日に公開授業参観、岡谷市からの正式依頼、同三十日には資料閲覧など、取材が続いた。中でも私に迫ってきたのは分厚くまとめられた、全校児童一人ひとりからの熱いメッセージだった。「岡谷田中小学校という名前を入れて欲しい」「街や周りの山や湖、自然の言葉をいれて下さい」「仲がいい」「友達つくろう」など様々な内容だったが、特に六年生から「卒業までに歌いたい!」という内容は、今まで併合後、苦勞して学校の先頭に立てきた六年生の強い想いが伝わってきた。「よし、六年生に歌ってもらおう」と思った

ところがこの年の十二月末には急に兄が亡くなり、明けて正月からはその後始末もあつて、ようやく一月の半ばに曲づくりに入ることができ、まずはまだ見たことのない旧岡谷小学校に行ってみようと思ひ立ったのだ。

岡谷小学校からの景色は素晴らしく、後ろの山にも登ってみた。解体工事が進む様子が眼下に見え胸に迫った。坂を下って子ども達が朝夕通う岡谷の街中を歩くと、商店街や工場の中に小さな祠や立派な神社がある。それを突き抜けると目の前に諏訪の湖が広がってきた。「湖の周りをずっと行こう」と思い整備された岸辺を歩くと、カルガモやハクチョウが、氷結されずわすかに残った水面に集まって仲良く冬の陽たまりを楽しんでいた。先進の産業や文化を創った人々の街、諏訪湖に集う生き物たち、霧ヶ峰、八ヶ岳、湖を囲むこの素晴らしい山河、その大空に飛び立ち羽ばたく鳥たち…。

それから何回か現地に出かけ取材をしながら歌詞を考え同時に作曲した。記録を見ると詞ができたのは二月一日、作曲完了が二月十二日である。

使用する言葉は易しく明るく、曲は長くなく覚えやすく、というスタンスを意識しながら、取材や資料で受けたイメージを発酵させ創作した。だれでも歌えるような歌詞がいいなあ、と思っていたので、「岡谷田中小学校という言葉を入れて!」という子どもたちの多くの要望に応えつつ日本中のこともたちが歌ってもいいように、「折句」という日本の伝統的な作詩技法を取り入れることにした。『おおぞら かけていこう やさしく たくましく ながれる かぜをうけ …』他にも探せば、え?なるほど!というような「暗号」も入れてみた。合唱にして欲しいという要望にも応えて二部合唱にし、できてすぐに校長先生と音楽専科の吉田敦子先生宛て

にお送りした。

驚くべきことはその後、二月二十八日に新校歌おひろめの会があつたことだ。先生方が多忙中、新曲を合唱にし、ピアノ伴奏を入れ、子ども達や多くの保護者の皆さんの前で発表したのだ。猛練習したに違いない。私も呼んでくれた。子ども達からの感想、質問コーナーもあつた。このスピードには先生方の「卒業式までに間に合わせたい!」という強く深い愛情が込められていたのだと思う。

その後、無事卒業式が終了したという一報が横内先生から入り、新年度になり新校長先生に井出誠一先生が赴任され、先生方の転出入もあつた。

岡谷田中小学校の素晴らしいのは、二十九年度になつても新校歌を全校音楽集会で歌い合つたり、校歌を題材にした音楽研究授業(授業改革部会授業研究)を開催し、新音楽専科の山田祐介先生を授業者として全校で授業改革に取り組んでいたりするところだ。教頭の馬場広一先生をはじめ、新校歌と子ども達がよりそうように全校体制で工夫されている。これも愛情であろう。

校歌はその学校を褒め称えるものではなく、その学校で生活し、学ぶ人々の時間と空間と心を象徴する楽曲であろう。卒業しても抛り所となるひとつの故郷でもあろう。さらに地域の方々が子ども達や先生方と一緒に育てる「学校」という高度な文化の歌であろう。

このような貴重な機会に携わらせていただいた幸せを感じ、これからも一人ひとりの子ども達が羽ばたいていつて欲しいと願うばかりである。

2018・3





## カノラータ・オーケストラ

団長 澤野紳二

カノラータ・オーケストラは、二〇〇二年にカノラホールの育成団体として創設されました。当団は、本拠地カノラホールで年に二回開催される演奏会をはじめ、岡谷市教育委員会が主催するイルフプラザにおけるホリデイスクエアコンサート、諏訪湖ハイツにおけるロビーコンサートなど地域のイベントにも積極的に参加しています。

年二回の演奏会では、七月に定期演奏会、十二月にはウインターコンサートを実施しています。これらの演奏会では、地域やクラシック音楽愛好家の皆様にオーケストラの演奏を楽しんでいただくことを目指し、日々の練習に励んでいます。昨年の定期演奏会は『過去と未来をつなぐ一本の線』をテーマに、バッハから脈々と続くドイツ音楽の歴史とその未来を見据えたブラームスの交響曲第四番を演奏し好評を博しました。ウインターコンサートでは、ブラームスが崇拜したベートーヴェンの傑作「運命交響曲」を取り上げ、名曲の真価を再確認した演奏会となりました。終演後には大きな拍手をいただき、次回の公演に向けて大きな励みとなりました。

カノラータ・オーケストラは、ホールを飛び出し市内の各施設でも演奏を行っています。六月の諏訪湖ハイツロビーコンサートにおける「あじさいコンサート」、十一月のイルフプラザ三階における「ホリデイスクエア」では、クラシック音楽だけでなくディズニーやジブリなどの映画音楽をはじめ、歌謡曲、テレビのCM等で耳馴染みのある作品も取り上げ、アットホームな雰囲気の中でコンサートが進められます。また、レイクウオークでの「The Power Of Music」や地区の夏祭りでも演奏させていただきました。地域に根ざした活動を展開しています。

さて、今後は二〇一八年七月十五日(日)に第十七回定期演奏会、十二月十六日(日)にウインターコンサートを開催します。定期演奏会では、チャイコフスキーの交響曲第五番をはじめとするロシア人作曲家の作品を集めます。親しみやすいチャイコフスキーの音楽は、オーケストラを初めて聴く方にこそ聴いていただきたいドラマティックな音楽です。

また、随時団員も募集しています。毎週水曜日午後七時三十分から午後九時三十分までカノラホール内で練習を行っています。団員は、岡谷市内をはじめ諏訪、松本、伊那地域などから集まり、年代も中学生から六十代までと幅広く、和気藹々と練習に励んでいます。常任指揮者鈴木竜哉による指導では、一層洗練された演奏を目ざすため厳しくも濃密な練習が行われています。興味のある方、入団希望の方は

カノラータ・オーケストラ事務局

カノラホール内 (☎0266-24-1300)

までお問い合わせください。

文責：山下雄也・入倉友紀







## 混声合唱団「岡谷せせらぎ会」

幹事長 橋爪 勉

昭和二十九年十月、人口六千の長地村に、高校生を中心に三千名で誕生した岡谷せせらぎ会は、今年六十四年目を迎えております。長い歴史の中からいくつかエポック的な出来事を取り上げたいと思います。

せせらぎ会の誕生は、創設者である高木昭好さんが通っていた中学校の音楽教師だった小川先生(現青木)が帰郷された際、合唱団を作ろうという事になり、会の名前も「せせらぎ」と命名していただきました。若かった皆は、ガリ刷りの楽譜作りは勿論、音楽論から人生論迄、意見交換は夜のふけるのも忘れる事の多いその頃でした。

第一回の発表会は、昭和三十年八月長地中学校の体育館でした。当日は、激しい夕立後にもかかわらず体育館を一杯にしてくれたお客様の熱気が歴史の原点になり、その後毎年、一回も欠かす事なくコンサートを継続したことは、合唱団の大きな誇りとなっています。

三十六年には、明治大学の招待で翌年東京の共立講堂での合同演奏会に出演出来、せせらぎにとっては始めての、すばらしい音響の会場での演奏会は地方合唱団にとつて大変印象深いものでした。

昭和三十九年第十回の演奏会で合唱曲「旅」を取り上

げ今迄寄せ集め的なステージに核を作り、その後演奏した邦人作品は、「蔵王」「私の願い」「水のいのち」「筑後川」「山に祈る」「風のうた」「島よ」「息づく日々」「心の四季」「深き淵より」「海鳥の詩」「やさしい魚」「風の子守歌」「伊勢志摩」「ひとつの朝」「都会」「旅」「花に寄せ」等々です。

第二十回から三十三回の間は諏訪響指揮者の保坂先生に客演指揮をお願いしています。

昭和五十九年十二月には、三千周年では、諏訪交響楽団のオーケストラで、南信合唱団の応援を得て、二百五十名のコーラスによるベートーヴェン「第九」の演奏会を大成功の内に終わらせました。

昭和六十二年三十三回にオペラ「カルメン」を取り上げ、中央より吉江、青山、饗場先生の三人をお迎えし、岡谷市民会館で手作りの舞台装置、簡単な衣装を作り、カルメン抜粋で、一味違った楽しい演奏会を創り上げました。

昭和六十三年一月には、会員の念願だった海外演奏会が実現し、香港の銀喜合唱団との合同演奏会の成功は、大変よい経験になりました。

第三十四回以降には、「企画ステージ」を設定し、「サウンドオブミュージック」「ウェストサイド物語」「キャッツ」などミュージカルを取り上げることが多くなりました。

平成十六年第五十周年の「キャッツ」は、曲作りも、ダンスも、衣装もそれぞれの分野で、会員それぞれの力が結集されたステージになりました。

岡谷せせらぎ会の年間活動の一部をご紹介します。

通常、せせらぎ会の年度は、十二月に始まります。コンサートを構成する三ステージのうち第一ステージの曲目は、客演指揮者の江上先生とせせらぎ会の合同検討で決まっております。年度開始からさっそく練習が始まります。冬の間に残る第二ステージ第三ステージの検討を重ね三月末

までには全ステージの曲目が判明します。

春、夏の間には、その年の曲目の練習に励むと同時に、早くも次の年度のコンサートのステージ構成について検討を始めます。特にメインステージの第三ステージの構成について、会員に対するアンケート調査結果と、ここ五年間に演じた過去のステージを参考に、イメージを膨らませ、楽譜を取り寄せ、会員の代表で構成される「運営会」で何度も練り上げていきます。秋のコンサートを実施した後は、次のコンサートのイメージがほぼ出来上がり、冬の間の相談でステージが決定する、上記のサイクルが回って行きます。このように曲目検討、練習、コンサートが切れ目なく実施されます。

その中で、春にはバス旅行や練習会宿、夏に高齢者福祉施設におけるミニコンサート、演奏会前の会宿、十二月にクリスマス会を開催して、年間スケジュールにリズムを作っています。

せせらぎ会の誇りは、自主的なパート練習によってハーモニーの向上に努めることはもちろん、会員それぞれが役割をきちんと務めることができていることだと思います。これが毎年のコンサートの成功の要因と考えています。たとえ二歩下がる事があっても、次には、二歩、三歩と前進し、せせらぎ会は常に挑戦を続けてきたように思います。若い人は高校生、年輩者は定年をはるかに超えた七十〜八十歳の年齢差が、むしろ、せせらぎ会の多様性や新たな挑戦の原動力になっていると思います。毎年優秀な会員が入って来て、会に活力を与えてくれています。せせらぎ会は今後も、新しい方もベテランも等しく意見を取り入れ活力ある合唱団となる運営を心がけて参ります。

第六十四回コンサートは、カノラホールにて十二月二日午後二時開演です。ぜひお越しください。心よりお待ちしております。



# 歌魂(うたたま)

歌魂部会長 倉田啓子

今年度も、歌魂(うたたま)部会では、童謡・唱歌を中心にたくさんの方々とごいっしょに歌うことができました。六回行われた「歌いつごう!日本のうた」には、毎回二百二十人ほどのみなさんが来て下さいました。カノラ少年少女合唱団と歌ったり、ガールスカウトの団員の皆さんが参加して下さいました。子育て中のお母さんが子どもとの思い出の歌を紹介して下さいました。おかげさまで、童謡・唱歌を歌い継ぎたい!という思いが広がってきていると感じます。岡谷市の各小学校で行われている「放課後子ども居場所づくり」事業にも数年前から参加させていただいています。今年、川岸小のとちっ子ひろば・上の原小のうえのはらっぱ・神明小のはばたきラボ・岡谷田中小のあやめ基地におかや音楽協会の合唱団のメンバーと参加しました。そして、そこで使える歌詞だけの歌集「たのしくうたおう!日本のうた」を新たに作り直しました。(左写真)小学校の教科書に載っている歌を歌魂部会メンバーがまとめ、子どもたちにイラストを描いてもらいました。この歌集をさらに活用していきたいものです。十二月にはカルチャーセンター「歌魂青年隊の企画で開催し、聴衆の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

これからも童謡・唱歌などの素敵な歌を、たくさんの方々とごいっしょに歌っていききたいと思っています。



諏訪湖マラソン

諏訪湖マラソン応援隊は雨のため中止となりましたが、集まった数名の会員有志で選手たちを、ささやかなりながらも一所懸命に応援しました。



《おかや音楽できるスペースマップ》が10月に発行されました。公共施設から民間の施設、店舗まで42の施設について、演奏会や練習が可能な施設を、一枚のマップにまとめ会員に配布しました。また市役所や公民館などの公共施設にも置いてありますので、みなさま、ぜひご利用ください。





# おかや音楽協会 賛助会員募集のお願い

おかや音楽協会 会長 林 新一郎

## おかや音楽協会は

音楽を愛する仲間の連携・交流をすすめます  
地域の音楽文化発展に力をそそぎます  
音楽を通じ、子どもたちそして地域社会に心豊かな生涯教育をとどけます



みんなで紡ごう  
音の絹糸 ♪

そのためにおかや音楽協会はこのようなことをおこないます

- ・岡谷市民音楽祭の運営
- ・さまざまな音楽情報掲載の会報誌 (MUSE) の発行
- ・情報発信のお手伝い (コンサートの宣伝や会員募集など)
- ・音楽仲間相互の交流イベントの開催
- ・音楽によるまちづくりの企画及びイベントの開催など

\*\*\*\*\* 音楽を通じてのまちづくり実現のために  
ぜひおかや音楽協会にご協力ください \*\*\*\*\*

ご入会をお待ちしています!

♪ 賛助会員 会費(年会費) 一口 **5,000** 円  
4月1日から翌年3月31日までの1年間です。

♪ 協会発行の会報誌(MUSE)、ホームページ等に、賛助会員の方のお名前を掲載いたします。

♪ 入会のお申し込みは、申込書<別紙>を事務局宛にお出してください。

♪ 会費は、現金納入または、下記の口座への振込をお願いいたします。

**ゆうちょ銀行**

口座記号番号	00530-6-100936
加入者名	おかや音楽協会
*ゆうちょ銀行以外からの振込用口座番号*	
○五九(ゼロゴキユウ)店 (059) 当座0100936	

<お問い合わせ先>

事務局 高木千奈美 (TEL・FAX 0266-22-1965) 〒394-0004 岡谷市神明町4-4-1

## 人・音・夢

『世代をこえて**百曲**を歌おう』

定価**1,000**円<税込>

笠原書店本店および事務局で取り扱っております



おかや音楽協会広報部  
MUSE編集スタッフ

今井康善	金子慶子
小松穂乃香	佐原 武
林 みな	増澤初美
宮坂久恵	宮澤綾乃



## 人・音・夢



## Special Thanks

## ◆賛助会員のみなさま◆

社会保険労務士法人 有賀事務所  
 (株)イズミテクノ  
 今井整形外科医院  
 (株)笠原書店  
 サツマ外科医院  
 佐原音楽教室  
 宗教法人 照光寺  
 たんぼぼ学習塾  
 (株)豊島屋  
 (有)フキドウ  
 (株)丸真製作所

(敬称略・アイウエオ順)

## ◆団体会員のみなさま◆

アンサンブルMilou  
 歌い人こんべ  
 岡谷合唱団  
 岡谷熟年歌唱会  
 岡谷マンドリンクラブ  
 KASAHARA 音楽教室  
 カノラ少年少女合唱団  
 カノラータ・オーケストラ  
 川岸女声コーラス  
 混声合唱団「岡谷せせらぎ会」  
 女声コーラス しなの  
 スズキ・メソード 岡谷諏訪支部  
 ハーモニカ21  
 ふらっとり  
 やまびこ男声合唱団  
 ラララ・カンガルー

(敬称略・アイウエオ順)

